

ORACLE

Oracle Playbook

AIエクセレンス

Oracle Cloudを活用した業務自動化と
新たな可能性の創出



人材、プロセス、システムに
絶えず焦点を当て、
少ないリソースで
より多くの成果を上げる

AIの重要性はかつてないほど高まっています。世界は不確実性に満ちており、企業が競争力を維持し、変化の先に行くことはますます困難になっています。さらに、AIテクノロジーの強力かつ実用的な進歩により、企業は、AIが提供する新たな機会を確実に捉えることができる、強固なフレームワークを装備することが不可欠になっています。

そしてオラクルも、お客様と同様にこれらの課題に直面しています。何から手をつければいいのか、何を優先すべきなのか、判断が難しいと思われるかもしれませんが、オラクルはすでにこれらの課題に取り組み、収益を伸ばしながらオペレーショナル・エクセレンスの実現にも注力してきました。オラクルは、製品中心の企業からサービス中心の企業へと転換を遂げ、最も完全なクラウド・テクノロジー・スタックを開発し、数十カ所のデータセンターを立ち上げ、多くの戦略的買収を行ったにもかかわらず、業界トップクラスの非GAAP営業利益率40%以上を達成しています。

特に、ここ数年間、Oracle Cloud ApplicationsとInfrastructureに組み込まれたオラクルの包括的なAIサービスを活用することで、従業員の生産性と意思決定の向上、エンドツーエンドプロセスの自動化、業務コストの削減、カスタマー・エクスペリエンスの向上など、新たな方法を見出すことができました。例えば、データ検索、スプレッドシートの精査、コピーの作成、テキストの分類といった管理業務に費やす時間を減らし、製品開発やカスタマーサポートといった価値の高い業務に費やす時間を増やしています。

オラクルのAIサービスのメリット



生産性の向上



プロセスを
エンドツーエンド
で自動化



業務コストの
削減



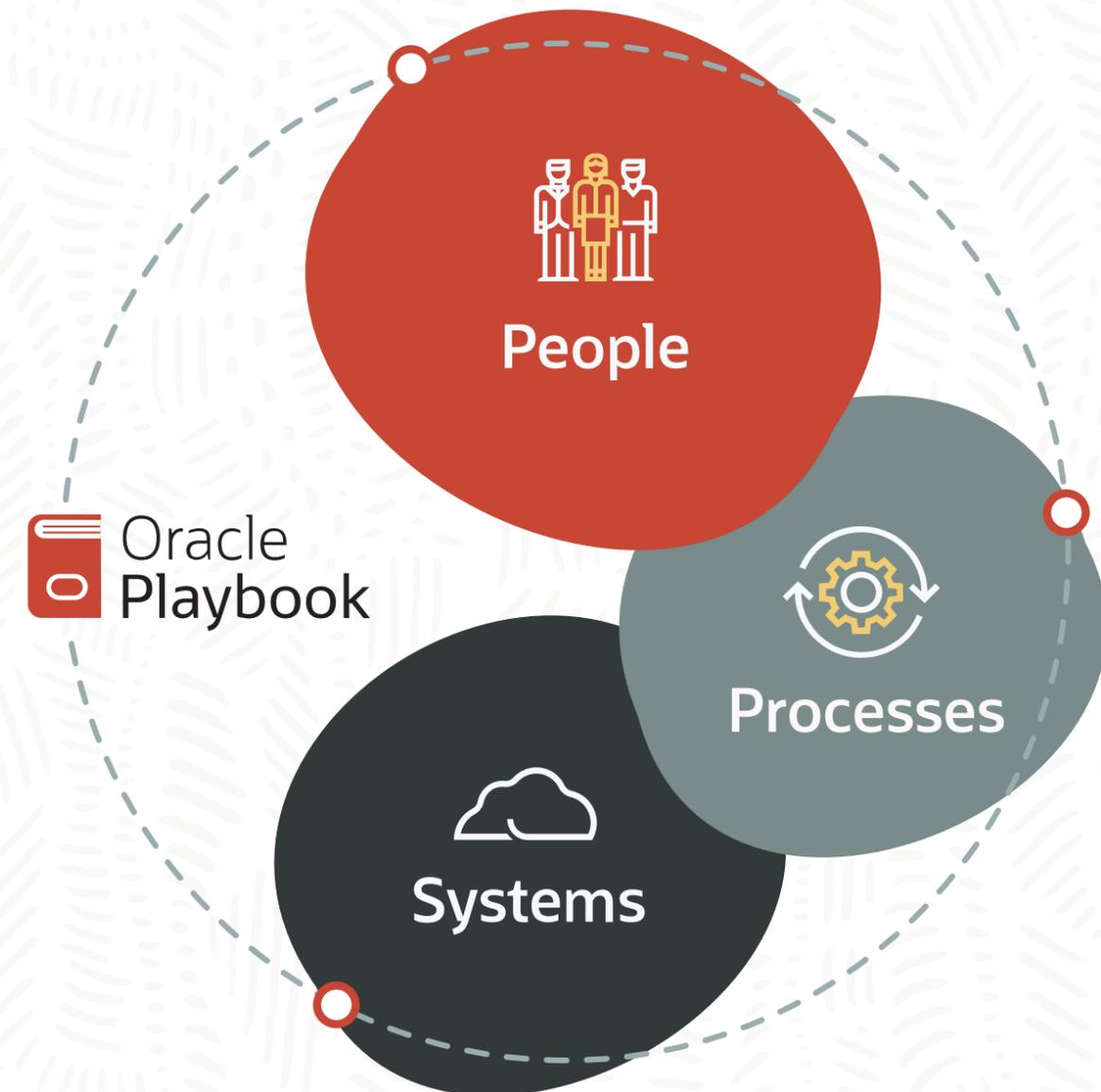
カスタマー・エ
クスペリエンス
の向上

オラクルではこれをどのように実現したのでしょうか？ 私たちはそれを「AIエクセレンスのためのOracle Playbook」にまとめました。このプレイブックには、テクノロジーの枠を超え、人材、プロセス、システムに絶えず焦点を当てながら、少ないリソースでより多くの成果を上げるための戦略が盛り込まれています。私たちは、オラクルで経験したことや学んだ教訓を共有することが、同じような課題に直面している組織に役立つと考えています。このプレイブックでは、私たちがどのようにオラクルの人工知能ポートフォリオを活用し、継続的なイノベーションに取り組んでいるのかをご紹介します。



ビジネスの成功を 推進するための フレームワーク

弊社では、3つの主要なベクトル、すなわち「人材」「プロセス」「システム」に重点を置いています。オラクルがOracle AIをどのように活用しているかをご紹介する前に、これらの要素がなぜそれほど重要なかを説明したいと思います。



人材

オラクルの成功のカギを握るのは人材です。そのため、まずは各従業員が弊社の戦略と共通の目標を正しく理解できるようにすることが重要です。そして、成功に向けて組織化し、継続的なイノベーションという文化を浸透させていきます。

ゴール

まず、何が最も重要かを明確にし、あらゆる部門と従業員の活動を、当社の目標と一致させます。オラクルの会長ラリー・エリソンとCEOサフラ・キャッツは、あらゆる機会を通じて、お客様の成功こそが弊社の真のゴールであることを明確に伝えています。その結果、製品開発や顧客対応業務に携わらないチームであっても、オラクルの継続的な財務的成功を推進しながら、お客様の目標達成をサポートするという共通の目標を掲げています。

組織

オラクルでは、各機能分野にグローバル・プロセス・オーナーおよびソリューション・オーナーを設置することで、責任の所在とフォーカス分野を明確にしています。グローバル・プロセス・オーナー（GPO）は、担当分野において最も効率的なプロセスと最高のユーザー・エクスペリエンスを策定する責任を負っています。例えば、採用担当のGPOは、採用エクスペリエンスだけでなく、そのプロセスが従業員やマネージャーのエクスペリエンス全体に与える影響にも細心の注意を払っています。

GPOは、同じ分野を担当するグローバル・ソリューション・オーナー（GSO）と緊密に連携します。GSOとは、オラクル・テクノロジーを活用した自動化を推進する責任者を指します。このパートナーシップは、当社のビジネス部門とIT部門を連携させるのに役立ちます。この2人が協力することで、Oracle Cloud ApplicationsとOracle Cloud Infrastructure（OCI）が提供するイノベーションを活用し、当社の業務を継続的に簡素化、標準化、および改善することができます。

GPOとGSOは、AI機能の選択、新機能の活用方法の決定、新しい自動プロセスの導入時期の判断において重要な役割を果たしています。オラクルは、四半期ごとに数十もの新しいAI機能をさまざまなプロセス領域でリリースしています。その際、GSOはGPOに対し、新しい機能が注力分野のプロセスのさらなる効率化、自動化、改善にどう役立つかについて説明します。その後GPOは、すべての機会を理解した上で、新機能を導入するための優先順位を決定します。通常は、大きなインパクトをもたらす導入から着手し、次に、小規模ながらもインパクトのある改善をもたらす機能を導入します。一例として、採用を担当するGPOの場合、GSOは新しい候補者推薦機能の利点と、採用担当者が採用マネージャーのニーズに合致する人材をより迅速に特定するためにどのように使用できるかを説明します。このようなGPOとGSOのコラボレーションを通じて、オラクルはAI導入が幅広い業務戦略の一環となるよう努めています。

企業文化

人材に関する最後の要素は、変化を受け入れることができる文化と考え方です。

オラクルは、常に学び、改善し、効率化を図ることで、お客様により良いサービスを提供できるよう努めています。これには、固定概念に疑問を投げかけ、常に自己改革を図ることも含まれています。また、オラクルのイノベーションの文化は、改善や進歩の機会を提供するだけでなく、私たち一人ひとりが、問題解決者であり、革新者であり、そしてソリューションの一部であるという考えを醸成します。

例えば、新入社員の採用からオンボーディングまでのプロセスに関与するチーム（人事、法務、IT、不動産・施設管理など）は、定期的にミーティングを行い、フィードバックや評価指標を確認しています。CEOのサフラ・キャッツは、エグゼクティブ・スポンサーとして、必要な人材を得るための採用プロセスを常に簡素化し、新入社員が生産的なチームメンバーとなるまでの道のりを加速させることの重要性を明確に示しています。毎週、そして毎月、チームは応募者や、従業員、マネージャーからのフィードバックを確認しています。さらに、関連データの分析や、Oracle Cloud ApplicationsやOracle Cloud Infrastructureから生まれる新たなイノベーションの検討も行っています。これにより、採用やオンボーディングの方法を改善し、場合によっては完全に変革するための次のステップを決定することができます。お気づきのとおり、オラクルはこの仕事に「終わり」があるとは考えていません。むしろ私たちは、1日1日を、業務方法を見直す機会だと考えています。

具体例を挙げましょう。採用から入社までのプロセスを見直したところ、承認プロセスが複雑なため、採用が数週間、場合によっては数か月も遅れていることが判明しました。もちろん承認者の役割は重要ですが、複数の承認プロセスを経ても、それから付加価値が得られていないことが分かりました。それどころか、投資について決定権を持つ少数の人物から承認を得るだけで十分だったのです。さらに、AIを活用すれば、採用プロセスの進捗を監視し、さらに迅速化するために自動化を活用できることが分かりました。そこで、エクスペリエンスを改善し簡素化するために、承認者の数を70%削減しました。また、Oracle Fusion Cloud HCMの四半期ごとのアップデートを利用して、承認者に新たな指針を提供し、プロセスを加速し、承認を最初から最後まで追跡できるようにしました。

70%

承認者の数を削減することで、採用プロセスを加速



プロセス

私たちは、ステークホルダーに提供するエクスペリエンスの土台となる、エンド・ツー・エンドのビジネス業務を継続的に見直しています。これを行うために、社内プロセスの継続的な評価に役立つ3ステップのアプローチを採用しています。

効率化

最初のステップは、お客様、従業員、パートナー様のプロセスを効率化することです。組織が、考えられるあらゆる例外条件に対処したり、あらゆるチームを含めようとすると、プロセスが非常に複雑になる可能性があります。そこで、まず、私たちがサービスを提供する人のことを念頭に置き、彼らが達成しようとしている成果に着目し、それを達成するための最もシンプルなプロセスを割り出します。

強化

プロセスが効率化できたら、次のステップでは、お客様、従業員、パートナー様が、できれば手作業を介さずに、タスクをより迅速に完了できるよう支援します。効率を最大限に高め、最高のエクスペリエンスを提供するために、オラクルでは社内のプロセスを自動化し、業務の迅速化、エラーの削減、一貫性と効果の向上を図っています。

満足度の向上

最後に、オラクルは、私たちがサービスを提供する人々が、作業を迅速に完了し、成功させ、そのプロセスを楽しむことができるようにする方法を常に模索しています。人々は、ただ仕事を迅速に完了する以上のことを望んでいます。たとえば、最善の決断を下し、優れた成果を上げたいと考えています。

システム

オラクルの成功に欠かせないOracle Cloud ApplicationsとOracle Cloud Infrastructureの活用において、私たちは3つの方針を掲げています。

アプリケーションの一元化

オラクルの成功に欠かせない要素の一つに、企業アプリケーションの一元化があります。その効果は絶大で、複雑性、コスト、時間を削減できるだけでなく、卓越したエクスペリエンスを提供するのに必要なアジリティとパフォーマンスを阻害するその他の障害を軽減するのに役立ちます。さらに、オラクルのエンドツーエンドの Fusion Cloud Applicationsを使用した一元管理により、信頼できる唯一の情報源（SSOT）が利用可能となり、業務全体を包括的に見渡せるようになります。さらに、オラクルの主要なトランザクション・データがすべてFusion Cloud Applicationsに集約されているため、AIに弊社独自のデータを提供し、Oracle AI が提供するインサイトの精度を高めることができます。

継続的なイノベーション

統合されたクラウドベースのアプリケーションにより、フロントオフィス業務とバックオフィス業務の両方で、AIを含む新しい機能を活用することができます。また、何年もアップグレードを待つことなく、継続的に機能を改善できます。このアプローチにより、生産性、意思決定、自動化、効率性を継続的に向上させることができます。

すぐに導入可能

Oracle Fusion Cloud Applications Suiteを迅速に導入し、カスタマイズを排除したことで、業務プロセスの簡素化、間接費の削減、ITサポートへの依存の解消、そして90日ごとにリリースされる新機能の迅速な導入が可能になりました。

オラクルでは、新しい機能やプロセス改善を導入する際に、そのフローをエンドツーエンドでユーザーとともにテストするだけでなく、彼らが新しい機能を実際に体験する様子もモニタリングします。しばしば、より素晴らしいエクスペリエンスを提供できると考えていたものが、実際には新たな課題をもたらしたり、想定していたほど操作が直感的でないことがあります。このような背景により、新しいエクスペリエンスが想定どおり、より効率的でパワフル、かつ楽しいものとなるよう、オラクルでは「ウォッチパーティー」を活用しています。特にAIに関しては、そのテクノロジーが弊社のプロセスをどのように自動化し、従業員をどのように導くかに細心の注意を払っています。



Oracleでの Oracle AIの活用方法

それでは、OracleがOracle AIをどのように活用しているか、そしてどのようなメリットが得られたかについて具体的に説明します。

Oracleの人事部門では、**Oracle Fusion Cloud HCM**のAI機能を活用して採用と雇用プロセスを効率化し、関係者すべてにとってより良いエクスペリエンスを提供しています。

また、求職者向けの機能、「Recommended Job」も導入しています。この機能は、求職者のスキル、資格、経験、キャリア志向に基づいて、パーソナライズされた求人情報を提案するものです。AIモデルは、求職者とのやり取りに基づいて継続的に学習し、改善を重ねることで、より適切で希望にマッチした求人情報を提案できるようになります。その結果、求職者にとってより効率的で効果的なプロセスが実現します。また、採用にかかる時間を短縮できただけでなく、各募集要項に対する適任候補者の数を2倍以上に増やすことができました。



Oracle Fusion Cloud HCM

**「Recommended Jobs」は、
求職者に対してパーソナライズ
された推奨を提供**

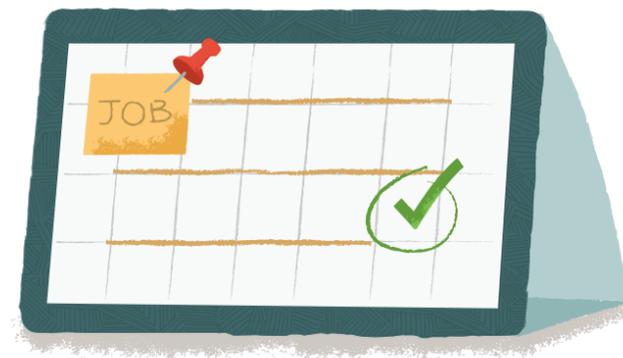
結果：求職者にとってより効率的で効果的なプロセスが実現します。また、採用にかかる時間を短縮できただけでなく、各募集要項に対する適任候補者の数を2倍以上に増やすことができました。

さらに、AIベースの「Suggested Candidate」および「Similar Candidate」機能を使用することで、採用担当者と採用マネージャーは、求人案件に最適な候補者をより迅速に特定できるようになりました。これにより、採用に要する期間を短縮できました。今では、履歴書の確認に費やす時間を減らし、オラクルのチームに最適な人材を採用できるようになりました。

採用までの期間を短縮する4つ目の方法は、Oracle Cloud HCMのAIベースの「Time to Hire」機能を活用することです。これにより、採用担当者や採用マネージャーは、プロセスのボトルネックを理解し、問題がある領域を迅速に認識し、問題を解決または改善し、エクスペリエンスを継続的に最適化することができます。

Oracle Fusion Cloud HCM

「Time to Hire」は、 欠員の迅速な 補充に貢献



さらに、この機能は、過去の類似求人と募集地域に基づいて、新しい求人を埋めるのにかかる時間を予測します。これにより、チームは最適な計画を立て、採用に備えて準備することができます。

さらに最近では、従業員による検索を効率化するため、生成AIをオラクルのイントラネットに導入しました。従業員はイントラネットを自然言語クエリで検索できるだけでなく、役立つリソースへのリンクを含む自然言語の回答も受け取ることができます。その結果、従業員エクスペリエンスが向上し、サポートチケットが週あたり30%減少しました。

30%

AIベースのイントラネット検索によりサポートチケットが減少



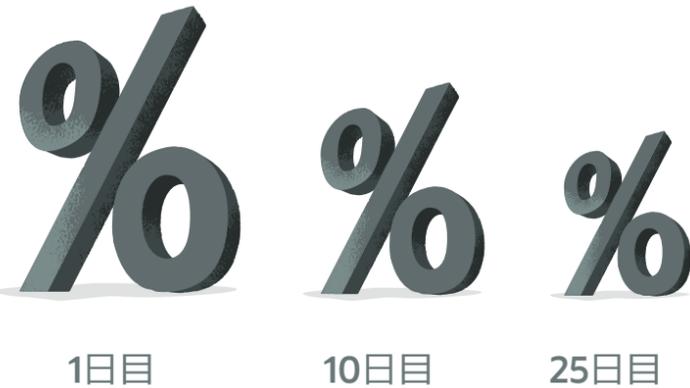
オラクルの財務部門では、Fusion Cloud ERP および EPM アプリケーションに組み込まれたインテリジェントな自動化機能を活用し、四半期で数十万件にも上る銀行取引の97%を自動照合するなど、効率性の向上に努めてきました。これは、決算を10営業日以内に完了し、S&P500のどの企業よりも早く収益を発表できるようになった要因の1つです。

財務部門では最近、Oracle Fusion Cloud Applicationsからリリースされた新しいAIベースの機能を導入し、コスト削減、効率向上、プロセスのさらなる自動化を図っています。

例えば、請求書の割引と引き換えに推奨サプライヤーに早期支払いオプションを提供する「Dynamic Discounting」機能は、運転資本の最適化に役立っています。さらに、「Intelligent Account Combination Defaulting」機能を活用することで、請求書に関するデータ入力を自動化および高速化しています。また、「Smart Expense Audit」を使用して、内部監査による確認が必要な経費報告書を自動的に特定しています。

Oracle Fusion Cloud ERP

「Dynamic Discounting」により、
サプライヤーに支払い方法のさらなる選択肢を提供



オラクルのアプリケーションに組み込まれたOracle AIのパワーを活用することで、財務チームがマニュアル作業や日常的な定常作業に費やす時間を削減すると同時に、一貫性、正確性、効率性、コスト削減も実現しています。

そしてこれらは、財務部門だけでなく、従業員全体が生産性を向上させるのにも役立っています。例えば、従業員は以前、領収書の収集、コピーの作成、領収書のアップロード、報告書の提出など、何時間もかけて経費報告を行っていました。また、マネージャーは貴重な時間を使って、内容を確認し、追加の情報を求め、ポリシーを確認し、申請を承認していました。そしてさらに、バックオフィスチームが何時間もかけて提出された書類を審査していました。

これらの時間はすべて積み重なっていきます。16万人を超えるオラクル社員が、四半期あたり2時間もこうした作業に時間を費やすとすると、年間130万時間という途方もない時間になります。これは人材の大きな無駄遣いです。



では、経費報告書の処理に費やされる従業員と管理職の時間を、オラクルではどのように数百万時間節約したのでしょうか？オラクルでは、チャットボットとAI機能を活用しています。従業員は、対話のようなエクスペリエンスの中で、レシートを撮影し、それをテキストまたはメールで送信するだけで、システムが自動的にその後の処理を行います。

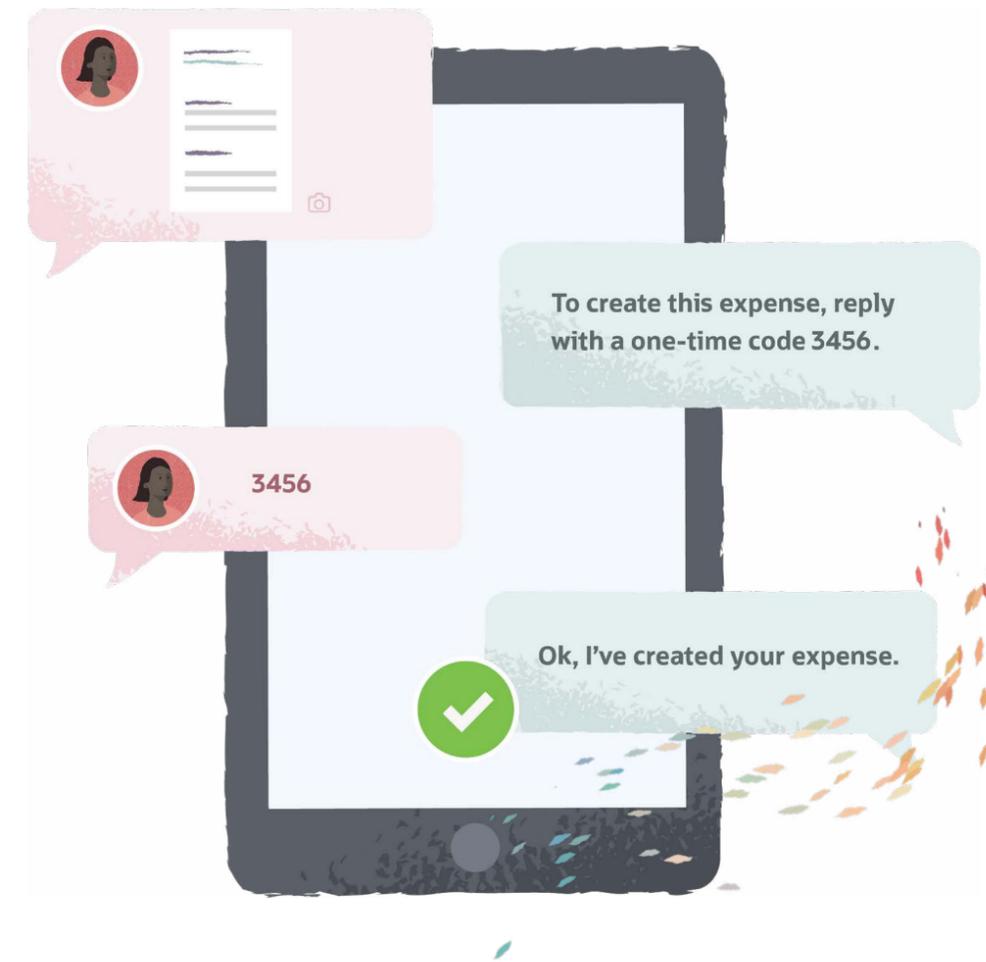
そして将来は、従業員が経費項目を提出しなくてもよいように、プロセスをさらに自動化することを予定しています。このシナリオでは、従業員がクレジットカードを使用すると、経費は Oracle Fusion Cloud ERP を通じて直接提出され、承認と支払いが実行されます。

人事や財務部門だけでなく、フロントオフィスでもオラクルのAIを活用しています。例えば、より正確な売上予測の作成などに活用しています。Oracle Cloud CXのAIベースの「Opportunity Win Probability」機能では、AIが営業マネージャーに各取引の成約の可能性を通知します。この情報を営業担当者の見積もりデータと比較することで、売上予測の精度を向上できます。

さらに、最近ではRFPプロセスに生成AIを導入しました。オラクルの営業担当者は、**Oracle Cloud InfrastructureのAIと翻訳サービス**およびOracleの生成AIを活用して、23言語でRFP回答のドラフトを作成しています。これらのドラフトは、受注につながったRFP回答に基づいており、営業の生産性向上と業績拡大に貢献しています。

Oracle Fusion Cloud ERP

経費報告書の処理にかかる工数を数百万時間削減



Oracle AIが重要な役割を果たしているもう1つの分野は、カスタマーサポートです。当社のサポートチームは、年間数百万件ものサービスリクエスト（SR）に対応しており、その対応製品は数千を超えます。Oracleでは、Oracle AIを活用することで、カスタマー・エクスペリエンスの向上とサポートチームの生産性向上の両方を実現しています。たとえば、Oracle Cloud CXのAIは、サポートリクエストを適切なサポートチームに自動的に振り分け、サポートリクエストを分類・優先順位付けし、サポート活動を顧客の言語に翻訳することで、迅速な問題解決を支援します。

Oracle Cloud CX

サービスリクエストを適切なサポートチームに自動的に転送



また、Oracleでは、Oracle Fusion Cloud SCMのAI機能、特に「Demand Management」を活用しています。この機能により、ビジネスや市場が刻々と変化している中でも、需要を正確に予測することができます。AIベースの「Demand Management」機能は、社内外のシグナルを収集し、リアルタイムの更新情報から需要パターンや変化を特定します。そしてシミュレーションを実行してビジネスへの影響を予測し、ニーズに優先順位を付けることで、高い顧客満足度を維持しながらコスト削減を実現します。

しかし、ここで終わりではありません。Oracleでは、継続的なイノベーションのために、四半期ごとにリリースされるクラウド・アプリケーションのアップデートを最大限に活用しています。これには、90日ごとにリリースされる新しいAI機能や、Oracle Fusion Cloud Applicationsを通じて提供されるその他の新しい機能や関連機能も含まれます。

新しいAI機能の
提供

90
日ごと



Oracle Cloud によって 得られたメリット

最高のAIには、最高のデータが必要です。つまり、Oracle AIのユーザーである私たちにとっても、自社データがとても重要だということです。当社の重要な取引データとワークロードはすべて、すでにオラクルのテクノロジーに保存されています。そして、そのオラクル特有のデータが、最も役に立つインサイトをもたらしてくれるのです。

さらに、ユーザ企業の1社としてオラクルが提供する包括的なテクノロジースタックと、エンドツーエンドの自動化を利用することで、フロントオフィスとバックオフィスの統合アプリケーションから、最も強力なデータベース、そして急成長中のクラウド・インフラストラクチャに至るまで、最先端テクノロジーの恩恵を享受しています。

Oracle Cloudに移行することで、ビジネスをエンドツーエンドでつなぎ、従業員の生産性を向上させ、統合された分析とインタラクティブなダッシュボードを活用してビジネスをリアルタイムで把握できるようになりました。これにより、お客様、従業員、パートナーにより良いエクスペリエンスを提供しながら、周囲の変化に迅速に対応し、計画を立てることが可能になりました。



たとえば、Oracle Autonomous Databaseにより、オラクルのITチームはデータベース管理などの管理業務に費やす時間を80%削減することができました。さらに、Oracle Fusion Cloud ApplicationsをOracle Cloud Infrastructureに移行したことで、Fusion Applicationsのパフォーマンスを30%改善することができました。これにより、データ、インサイト、推奨事項により容易にアクセスできるようになりました。

しかし、メリットはそれだけにとどまりませんでした。システム・パフォーマンスの向上により、サービスレベル可用性が99.7%から業界トップクラスの99.9%に改善され、お客様と従業員にもメリットがもたらされました。これはつまり、年間のダウンタイムが短縮されたということです。16万人以上の従業員を抱えるオラクルでは、従業員の生産性が150万時間近く向上したことになります。

Oracle Cloud ERPとEPMの導入により、財務計画サイクルを30%近く短縮し、調達から支払までのプロセスの35%近くを自動化しました。また、資金資源をより効率的に管理し、運転資本を最適化できました。

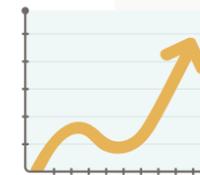
Oracle Fusion Cloud Applicationsへの移行によるメリット



Oracle Autonomous Database

80%

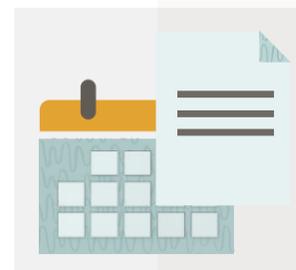
データベース管理などの管理業務に費やす時間を短縮



Oracle Cloud Infrastructure

30%

Fusion Applicationsのパフォーマンスが向上すると共に、業界最高レベルの99.9%の可用性を実現



Oracle Fusion Cloud ERP

35%

調達から支払いまでのプロセスの35%を自動化

Oracle Cloud HCMへの移行や人事に関するその他の変更により、採用と新入社員の受け入れにかかるマネージャーの作業時間を年間20,000時間削減しました。また、毎年20,000人を超える新入社員のオンボーディングを、入社日から24時間以内に完了できるようになりました。これはつまり、Oracle Cloud HCM 導入前は、数週間から数か月もかかっていたということです。

また、オラクルでは、Oracle Cloud SCMを活用することで、サプライチェーン計画サイクルを70%短縮することができました。その結果、全体としての計画サイクルが加速され、数時間という短い時間で段階的な変更が可能になりました。

また、Oracle Cloud CXを活用し、お客様との取引を自動化することで、お客様はすぐに製品やサービスの利用を開始し、価値を実感することができます。現在、お客様との取引の75%以上が完全に自動化されています。

弊社のビジネスの規模と複雑さを考えれば、この結果は非常に誇らしいものだと自負しています。オラクルは、16万人以上の従業員を擁し、175か国以上、40万以上のお客様にサービスを提供しています。そのような中、私たちは人材、プロセス、システムにフォーカスし、スタック全体にAIが組み込まれたOracle Cloud ApplicationsとOracle Cloud Infrastructureを活用することで、一見不可能に思われることを実現しています。さらに、日々、Oracle Cloud ApplicationsやOracle Cloud Infrastructureから生まれる新たなイノベーションにより、ますます多くのメリットを享受しています。

Oracle Fusion Cloud HCM



20,000

採用プロセスで削減できた
マネージャーの時間

Oracle Fusion Cloud SCM



70%

サプライチェーン計画
サイクルを短縮

AI導入のヒント

このOracle Playbookでは、AIに関する多くの経験を共有してきました。しかし、まだAIを導入していない企業がたくさんあることも事実です。そのような企業では、すべての機会を考慮した上で、何から始め、どう進めていくかを決断することが、非常に難しく感じられるかもしれません。オラクルも同じでした。

でもご安心ください。オラクルのテクノロジー・スタック全体にAIが組み込まれているため、プロセスを変更したり、AIの専門知識を身に付ける必要はありません。また、Fusion Cloud ApplicationsにはすでにAIのためのコンピュート・リソースが含まれているため、別途AIに投資する必要もありません。オラクルのGPOは、AIを他の機能と同じように考えています。なぜなら、AIの組み込みや継続的な改善という大変な作業は、オラクルの開発チームが代わりに行ってくれるからです。お客様が行うべきことは、他のプロセスやシステムの導入と同様に、目標や全体的な戦略を決定することです。そして、生産性、意思決定、自動化、効率性を推進するために、Oracle AIを活用する方法を検討しましょう。まずはシンプルに、貴社にとって最も大きな効果が見込めるAI機能を選択しましょう。

そして、小規模から始めて、AI機能でどのような結果やガイダンスが得られるかをテストしてみると良いでしょう。例えば、従業員による目標のドラフト作成にOracle AIを使用する準備が整っていないのであれば、目標達成のリマインダーとしてOracle AIを活用してみましよう。

Oracle AIは、すぐに使えて操作も簡単です。また、見せかけだけの機能や、画一的な機能ではなく、シームレスかつ文脈や目的に応じた機能を提供します。オラクルのアプリケーションは、インテリジェントで、日常のワークフローに自然に組み込まれているようなエクスペリエンスを提供します。

最も重要なのは、とにかく始めてみることです。AI技術は急速に進化しており、競合他社に遅れを取ることは避けたいところです。オラクルの経験からも分かるように、AIは少ないリソースでより多くの成果を上げるのに大きな力を発揮します。

オラクルは日々、弊社のテクノロジーから生まれる新たなイノベーションにより、ますます多くのメリットを享受しています。

もちろんその過程で失敗もありましたし、そこから多くのことを学びました。

オラクルが直面した課題やそれを克服するための戦略、またその過程で得られた利点や下した決断についてご興味をお持ちいただけましたら、お気軽にお問い合わせください。オラクルでの経験を共有することで、お客様も私たちの成功を再現し、私たちが遭遇したいくつかの落とし穴を回避できることを願っています。

Copyright © 2024, Oracle and/or its affiliates.このドキュメントは情報提供のみを目的としており、記載内容は予告なしに変更される場合があります。このドキュメントは、誤りがないことを保証するものではなく、口頭または法律で明示されているかどうかにかかわらず、商品性または特定の目的への適合性の黙示の保証および条件を含む、その他の保証または条件の対象ではありません。オラクルは、このドキュメントに関連するいかなる責任も明確に否認します。また、このドキュメントによって直接的、間接的に関わらず契約上の義務が生じることは一切ありません。このドキュメントは、オラクルによる事前の書面による承諾を得ることなく、目的の如何を問わず、電子的手段または印刷によるものも含めていかなる形式や手段によっても複製または送信することが禁じられています。

Oracle®、Java、MySQLおよびNetSuiteは、Oracle Corporationおよびその関連会社の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。